

平成 30 年度個別学力検査等 前期日程

「英語 (F)」 出題の意図

問題 I 英文和訳

(A)、(B)ともに「英語(A) に同じ」

問題 II 長文読解問題

分量が多く明確な論旨と構成を持った英文を読み、その要点を読み取ることができるかどうかをみる問題である。受験生には、高等学校における英語の授業内容を適切に習得し、それを基盤として英文を読む訓練が十分になされているかが問われている。また、解答においては日本語で内容を的確にまとめ、説明する能力、及び正確な日本語に訳出する能力も必要になっている。

問題 III 自由英作文

「英語(A) に同じ」

問題 IV 和文英訳

文部科学省の定めた指導要領の「書くこと」において求められている、まとまった考えや意図を適切な英語で表現できるかを問う問題である。こなれた日本語を自分の使える表現へと柔軟に解釈するパラフレーズ能力も必要とされる。また知っている単語を羅列するだけではなく、きっちりと文法規則にのっとり構文で書く事が求められる。普段の英語学習において、基本的な事項を確実にマスターして、英文を書く訓練をしていることが重要である。

問題 V 聴解力

対人関係を扱った論説を聞き、その主な要点を理解できているかどうかを問う問題である。設問で問われている情報を適切に聞き取っていく力が必要になる。また、設問は日本語で答えさせる形式であり、聞き取った情報を正しい日本語にまとめていく能力も求められている。